

週間家庭づくり

あなたの理解と愛情に正しく強い子が育つ。
 かんしゃの心と反省が明るい家庭をつくるもと。
 るすにしないかこどものことを知っているかが親の役。
 いつも楽しく食卓囲みみんなで話すよい家庭。
 かていは楽しく親たちもこども心で件聞入り。
 てをとりあって親と子が励む家庭に明るい笑顔。
 いいぶん聞いて道理を話し物より心を子に与え。

いわむら

発行所 岩室村役場
 印刷所 巻・北洋印刷KK

No. 49



耕起作業

その昔、雨の翌日は三本鍬を担いで、水はけのよい田圃へ向った。

晴天が続くと、乾いた粘土地は鍬の刃を曲げ、時には折れたりもする。牛馬にひかせた鋤も耕耘機に代り、今では乗用トラクターによる耕耘作業が進んでいる。10アール40分位で終る耕起作業に、肥料まきが追われるなど、歩く農業から乗る農業へのきざしが、各所で見受けられるようになった。(4月20日、津雲田耕地でうつす)

広域行政の問題について

最近新聞又はテレビなどで、市町村の広域行政推進という問題がとり上げられて居ります。

しかも直接当地域にも関係する巻町、西川町、濃東村、岩室村の四ヶ町村、或いは吉田町、分水町、弥彦村、岩室村の四ヶ町村による広域行政の促進云々という事が報道されて居ります。

つまりこのことは昭和四十年三月に、市町村の合併の特例に関する法律が公布になって以来のことであつて、即ち過去における町村合併促進法によつて、それぞれ町村合併が実施され、町村の数は約半程度に減少しているのではありません。

いわゆる町村数が減少したということは、それだけ各町村の規模が大きくなつたのであります。

しかしその大きくなった町村といつても、人口の面

からするならば、僅か八千から二万程度の町村であります。

従つて現代の社会情勢からいって、町村行政の運営が極めて困難である。即ち地域の要請に対処し得なくなるというのが現実の姿であります。

そこで更に市町村の規模を大きくし、纏つた大きな力で近代的な施設を整備し、もつて地域の要請に応えるということが目的である事は申すに及びません。既に現況においてもこれ等の実現がなされているのであります。

例えば本村の馬場においては、巻町外三ヶ町村のし尿処理の施設等がそれでありました。又吉田方面においても、吉田町外二ヶ町村のし尿処理の施設も出来て居ります。

その他今後においても塵芥処理の問題、火葬場の問題等広域的な行政が当面の問題として考へられているのであります。

従つてこれ等の観点から指率機關の県当局が仲介役となり、推進に乗り出してゐるのぶ実情であります。勿論県といたしましては県下全般にわたつてのことであり、既に県下の市町村においても、合併気運が逐次高まりつつあるようであります。従つてやがては再合併の時期もいづれ到来するかと存じますが、現在の岩室村の態度としては、これ等の問題について研究をして行くことにはやぶさかでないが、巻町を中心とした合併に賛成するとか、吉田町を中心とした合併に賛成するといふような考えは全くなく、暫くの間静観するといふことに決つて居りますので、誤解などないよう念のため申上げる次第であります。

役場定期人事異動発令

事務の刷新と能率的な運営を期する意味から、毎年新年度と共に職員異動を行なつて来て居りますが、今年も又その時期に至りましたので、この程一部の人

事異動を実施し、次の分掌

表のとおり新たな人事構成により、一層住民サービスに資したいと存じて居るものであります。

但し今回の人事異動については、昨年来職員の死亡、退職など二名の欠員を

生じて居りますが、財政の逼迫から欠員不補充のまま、それぞれ別の配置をいたしました関係上、極めて難渋を来たした面もありましたが、全職員の理解と協力を得て実施いたしました次第であります。どうか今後共一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。